

戦 評 用 紙

平成 29 年度県民総合体育大会バスケットボール大会兼埼玉県高等学校バスケットボール新人大会
平成 30 年 1 月 21 日 (日)

会場 上尾運動公園体育館

第 3 試合

対戦	昌平 高校	15	—	11	市立川越 高校
	73	19	—	13	78
		16	—	17	
		16	—	25	
		7	—	12 (OT)	

決勝リーグ第 3 戦目、お互い 2 勝どうしであり、優勝が懸かった試合である。

第 1 P 市立川越はマンツーマン、昌平は 2-2-1 プレスからマンツーマンのディフェンス。先制点を挙げたのは市立川越 #9 のジャンプシュート。昌平は #9 の個人技が光るシュートで得点を返す。市立川越は相手のディフェンスに少し苦しむところもあるが、#6 のリバウンドシュートのバスケットカウントなどファウルに助けられる。15-11 昌平リードで第 1 P 終了。

第 2 P 昌平はピックプレーから #7 のステップインや #4 から #9 へのアシストなど流れよくオフェンスを展開。市立川越は相手のディフェンスに引っかかる場面が多くなり、落ち着かない。残り 6 分 6 点差ついたところでタイムアウト。しかし、流れが変わらず残り 4 分 10 点差でもう一度タイムアウトを取る。市立川越はディフェンスを頑張り #9 のゴール下 #14 のジャンプシュート、#4 の 1 対 1 により得点を重ねる。昌平も #10 のリバウンドシュートが 2 本連続決まり、なかなか相手に流れを渡さない。34-24 昌平リードで前半終了。

第 3 P 後半は一進一退の攻防となる。市立川越は #4 #14 ジャンプシュートや #7 のゴール下で得点を取れば、昌平 #7 #8 のステップインやドリブルインで返す。残り 1 分 #5 の 3P で 5 点差まで詰めるが、昌平 #9 がジャンプシュートや 1 対 1 で連続得点を奪い、50-41 で第 3 P 終了。

第 4 P 市立川越はオフェンスミスが 2 本続き、流れが悪くなりそうだったが、#7 のバスケットカウント #9 の速攻、オールコートディフェンスで流れを引き寄せた。しかし昌平はなかなか崩れない。途中 #9 が負傷のためベンチに退くが、#8 と #7 が起点となり得点を重ねる。お互い苦しい状況のなか、5 点差の状態が続く。試合終了まで 1 分を切り、なおも 5 点差。市立川越は厳しい状況だったが、残り 44 秒で #4 の 3P、残り時間 9 秒で #7 のカットインが決まり、同点。決着は延長戦に突入した。

延長 昌平 #9 が負傷退場で退いていたが、延長戦に出場する。延長戦先制は市立川越 #6 の思い切りのいいカットインから始まる。#9 のゴール下ターンシュートが決まり、2 連続得点。昌平も #6 のクラッチシュートや #9 の 1 対 1 で得点を返す。シュートが決まるたびに観客の歓声が体育館に鳴り響く。お互いのルーズボールやリバウンドへの争いも凄く、お互いにファウルが鳴りあう。勝負を決めたのは市立川越 #5 の 3P。残り 1.4 秒を残し 73-78 と 5 点差にする。昌平がタイムアウトを請求し、オフェンスをするがパスミス。最後はボールをしっかりと回し、市立川越が勝利を手にした。新人戦決勝リーグ優勝をかけた 2 チームの戦いは会場全員が目を見張るナイスゲームであった。

(記入者：津留崎 治子)